

日本機械学会 2023 年度年次大会 市民フォーラム[C201] モデルロケット教室

開催概要報告

工学院大学
齊藤亜由子

開催日：2023年 9月3日（日）8:45～12:50
会場：東京都立大学南大沢キャンパス 12号館101室（打上げ：陸上競技場）
参加人数：小学生38名，保護者40名，スタッフ13名
主催：一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門・宇宙工学部門
共催：信州大学航空宇宙システム研究拠点，SUWA小型ロケットプロジェクト
後援：八王子市教育委員会

技術と社会部門・宇宙工学部門が分野連携企画として主催した市民フォーラム[C201] モデルロケット教室は晴天に恵まれ，大盛況のうちに無事終わることができた。

分野連携企画2年目の今年度は，日本のロケット開発の父 糸川英夫博士にゆかりのある多摩地区での開催であり，「ロケット開発の歴史」をテーマとした技術史に関するお話を座学の中に取り入れた。さらに，ロケットと同じく空を飛ぶ「竹とんぼ」の自動発射実演を同時開催し，ロケットと竹とんぼの飛び方の違いや，竹とんぼと火星探査ヘリコプターの関係に関する話題提供を行った。

当日は，分野連携企画WGメンバーに加え，信州大学，信州大学ロケットクラブ，SUWA小型ロケットプロジェクト，横浜国立大学から学生を含むスタッフ13名が参加し，モデルロケットのご講演は中山昇先生（宇宙工学部門・信州大），竹とんぼのご講演は高藤圭一郎先生（技術と社会部門・横国大）が講師を務められた。

モデルロケット製作後，射場へ移動し「竹とんぼ」の自動発射実演見学とモデルロケットの打上げ体験を行った。参加者は各自のモデルロケットを発射台へ設置し，「発射準備完了，低空飛行物体なし，点火5秒前，4，3，2，1，点火！」の掛け声に合わせて発射ボタンを押した。すべてのモデルロケットが無事に上がり，参加者らの笑顔と共に今年のモデルロケット教室が無事終わることができた。

最後に，大変有意義なロケット教室となりましたこと，あらためて講師の中山先生，高藤先生をはじめ当日ご指導にあたってくださった先生方，学生の皆様，準備にご尽力いただいたWG委員の皆様に深く感謝いたします。そして，現地での教室・駐車場等細かな調整をしてくださった年次大会実行委員 東京都立大学 小原先生にこの場を借りて御礼申し上げます。

【参加者アンケート自由記述欄（一部紹介）】

（子供たちからのコメント）

- ・竹とんぼの羽の先を少し変えるだけで飛び方や高さが変わったのがすごかったです。
- ・ロケットを作るだけでなくロケットの仕組みや色々な実験も説明してくれたのが良かった。

（保護者からのコメント）

- ・（竹とんぼの自動発射について）手で飛ばす以外の方法が初めてで興味深かったです。発射直前の浮き上がる瞬間が特に良かったです。
- ・自分で製作して打ち上げる一連の流れを体験できることが良いと思います。成功しても失敗してもどちらでも体験できることに価値があると思いました。



日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.48

(C)著作権:2023 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門